

平成 29 (2017) 年度  
 大阪大学大学院文学研究科  
 博士前期課程 (文化形態論専攻・文化表現論専攻)  
 学生募集要項

この募集要項は「文学研究科博士前期課程」に出願するためのものです。  
 文学研究科の課程については以下の表を参考にしてください。

|         |      |   |  |
|---------|------|---|--|
| 取得できる学位 | 博士課程 |   |  |
|         | 博士号  | 博士後期課程<br>○文化形態論専攻    ○文化表現論専攻  |  |
| 取得できる学位 | 修士号  | 博士前期課程<br>○文化形態論専攻    ○文化表現論専攻<br>●哲学哲学史            ●日本文学<br>●現代思想文化学        ●比較文学<br>●臨床哲学                ●中国文学<br>●中国哲学                ●英米文学<br>●インド学・仏教学        ●ドイツ文学<br>●日本学                    ●フランス文学<br>●日本史学                 ●国語学<br>●東洋史学                ●日本語学<br>●西洋史学                ●英語学<br>●考古学                  ●美学・文芸学<br>●人文地理学              ●音楽学・演劇学<br>●美術史学 | 修士課程<br>○文化動態論専攻<br>●共生文明論<br>●アート・メディア論<br>●文学環境論<br>●言語生態論 |
|         |      | 文学研究科ホームページ 参考ページ<br>・文学研究科について <a href="http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/academics/graduate">http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/academics/graduate</a><br>・研究科専門分野・コース紹介 <a href="http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/academics/graduate-course">http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/academics/graduate-course</a>   |  |

平成 29 (2017) 年度  
大阪大学大学院文学研究科

博士前期課程 (文化形態論専攻・文化表現論専攻) 学生募集要項  
目 次

|   |           |
|---|-----------|
| 文学研究科教育目標                                   | 1         |
| 文学研究科アドミッションポリシー                            | 2         |
| <b>I 共通事項</b>                               | <b>3</b>  |
| 1. 大阪大学大学院文学研究科(文化形態論専攻・文化表現論専攻)の修業年限及び修了要件 |           |
| 2. 専攻・専門分野、選抜区分及び募集人員                       |           |
| 3. 博士課程教育リーディングプログラムについて                    |           |
| 4-1. 出願資格【一般選抜】                             |           |
| 4-2. 出願資格【外国人留学生選抜】                         |           |
| 4-3. 出願資格【社会人特別選抜】                          |           |
| 5. 入学料及び授業料                                 |           |
| 6. 長期履修学生制度                                 |           |
| 7. 個人情報の取扱い                                 |           |
| 8. 注意事項                                     |           |
| <b>II 一般選抜 (秋期試験・春期試験)</b>                  | <b>6</b>  |
| 1. 選抜方法                                     |           |
| 2. 出願手続                                     |           |
| 3. 出願書類                                     |           |
| 4. 試験期日及び試験会場                               |           |
| 5. 合格者発表                                    |           |
| 6. 入学手続                                     |           |
| 【表1】一般選抜 (秋期試験) 外国語試験の種類、専門試験の内容            |           |
| 【表2】一般選抜 (春期試験) 筆記試験の内容                     |           |
| <b>III 外国人留学生選抜</b>                         | <b>15</b> |
| 1. 選抜方法                                     |           |
| 2. 出願手続                                     |           |
| 3. 出願書類                                     |           |
| 4. 試験期日及び試験会場                               |           |
| 5. 合格者発表                                    |           |
| 6. 入学手続                                     |           |
| 【表3】外国人留学生選抜 専門試験の内容                        |           |
| <b>IV 社会人特別選抜</b>                           | <b>20</b> |
| 1. 選抜方法                                     |           |
| 2. 出願手続                                     |           |
| 3. 出願書類                                     |           |
| 4. 試験期日及び試験会場                               |           |
| 5. 合格者発表                                    |           |
| 6. 入学手続                                     |           |
| 【表4】社会人特別選抜 筆記試験の内容                         |           |
| 各専門分野・受験分野等問い合わせ先                           | 裏表紙       |

## 文学研究科教育目標

大阪大学は、「物事の本質を見極める学問と教育が大学の使命であり、この使命を果たすことで大学は社会に貢献していく」という理念のもと、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目標としています。

その目標を実現するために、研究科並びに全学的な教育研究組織において、

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

○教養・デザイン力・国際性

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材を育成します。

文学研究科は、大阪大学の教育目標を承け、また自由と独創を重んじ広く社会に開かれた学問所であった「懐徳堂」の精神を受け継いで、多様な個人や社会集団が生み出してきた事物・思考・習慣など、精神文化と物質文化の両面にわたる人間の営為を探求する人文学研究を行っています。現代世界が大きな転換点を迎えている今日、こうした営為にたいする理論的・歴史的・実践的考究は必要不可欠であり、社会のなかで人文学が果たす役割はますます重要なものとなっているとの認識に基づいて教育を行い、次のような人材の育成を目標とします。

1. 博士前期課程では、深い専門性と豊かな構想力をもって新たな領域で活躍でき、高い言語能力とデザイン力を備えた、研究者・高度専門職業人を育成します。
2. 修士課程では、分野横断的な発想に長け、現代社会が生み出す諸問題の解決に取り組む実践的能力を持ち、高い言語能力とデザイン力を備えた高度専門職業人を育成します。
3. 博士後期課程では、深い専門性と豊かな構想力をもって新たな領域を開拓し、幅広い教養と人文学的知を背景に日本および世界で活動できる、研究者・高度専門職業人を育成します。
4. 海外の多くの大学と交流協定等を利用して国際連携に努め、教育の国際化を進めて、優れたグローバル人材を育成します。

## 文学研究科アドミッションポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院（修士）の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

文学研究科は、実証的な基礎研究に重点を置く文化形態論専攻と文化表現論専攻、および現代的な課題を研究する分野横断的な文化動態論から成り、多岐に渡る教育・研究を進めています。

文学研究科では、上記の大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ研究科のこの特質にしたがって、人文学の修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。試験は以下の方法により、人文学研究に意欲的な人を受け入れます。

1. 博士前期課程の一般選抜では、各専門分野における研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 修士課程の一般選抜では、各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および実践的応用力を考査する筆記試験と、問題意識、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
3. 博士後期課程の一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。
4. 社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。
5. 留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。

## I 共通事項

### 1. 大阪大学大学院文学研究科（文化形態論専攻・文化表現論専攻）の修業年限及び修了要件

文学研究科の文化形態論専攻及び文化表現論専攻は、博士課程で、これを前期課程（修士課程として取り扱います）と後期課程に区分しています。前期課程の標準修業年限は2年です。

なお、後期課程の標準修業年限は3年です。

前期課程は、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することをもって修了とします。

### 2. 専攻・専門分野、選抜区分及び募集人員

(1) 本研究科の博士前期課程には、「文化形態論」及び「文化表現論」の2専攻が設けられており、さらに専攻は、23の専門分野に分かれています（専門分野については裏表紙参照）。

(2) 本研究科博士前期課程の選抜区分は、以下のとおりです。

| 選抜区分     | 募集時期           | 募集人員                         | 備考  |
|----------|----------------|------------------------------|---|
| 一般選抜     | 年2回<br>(秋期・春期) | 75人<br>(秋期45人程度、<br>春期30人程度) | 秋期試験と春期試験のいずれか、又は両方を受験することができます。  |
| 外国人留学生選抜 | 年1回<br>(春期のみ)  |                              | 外国人留学生とは、我が国の大学・大学院等において教育を受ける外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格により在留する者を原則とします。<br>ただし、入学時に在留資格を「留学」に変更できる者を含みます。 |
| 社会人特別選抜  | 年1回<br>(秋期のみ)  |                              | 社会人としての経験を生かして研究に取り組むことを希望する人、及びその研究を通して高度の専門職や研究職を目指す人を対象としています。   |

### 3. 博士課程教育リーディングプログラムについて

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる新しい大学院プログラムがあります。このプログラムは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる独創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

文学研究科博士前期課程の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

| プログラム名              | HP URL  |
|---------------------|---|
| 超域イノベーション博士課程プログラム  | <a href="http://www.cbi.osaka-u.ac.jp">http://www.cbi.osaka-u.ac.jp</a>         |
| 未来共生イノベーター博士課程プログラム | <a href="http://www.respect.osaka-u.ac.jp">http://www.respect.osaka-u.ac.jp</a> |

#### 4-1. 出願資格【一般選抜】

一般選抜に出願することができる者は、次の(1)～(9)のいずれかに該当する者となります。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 29 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 「大学評価・学位授与機構」により学士の学位を授与された者及び平成 29 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) ※ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。ただしいずれの場合も本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた場合に限る。
- (9) ※ 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

※ 出願資格(8)・(9)に該当する者は、資格認定審査が必要となるため、事前にお問い合わせのうえ、秋期試験は平成 28 年 7 月 15 日（必着）まで、春期試験は平成 28 年 11 月 25 日（必着）までに本研究科教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

#### 4-2. 出願資格【外国人留学生選抜】

外国人留学生選抜に出願することができる者は、次の(1)～(2)のいずれかに該当する者となります。

- (1) 本学文学部を卒業した（もしくは平成 29 年 3 月に卒業見込みの）外国人留学生
- (2) 上記 4-1 のいずれかに該当し、原則として本研究科あるいは本学文学部の研究生として半年以上在学する（もしくは平成 29 年 3 月までに半年以上在学する見込みの）外国人留学生

※ 出願資格(8)・(9)に該当する者は、資格認定審査が必要となるため、事前にお問い合わせのうえ、平成 28 年 11 月 25 日（必着）までに本研究科教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

#### 4-3. 出願資格【社会人特別選抜】

社会人特別選抜に出願することができる者は、上記 4-1 のいずれかの資格を有した後、3 年以上の社会人経験のある者となります。

ただし、出願時において学生（学校に正規生として在籍している者）である者は、出願資格を有しません。

※ 出願資格(8)・(9)に該当する者は、資格認定審査が必要となるため、事前にお問い合わせのうえ、平成 28 年 7 月 15 日（必着）までに本研究科教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

## 5. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円  
 (2) 授業料（前期分・後期分共） 267,900 円（年額 535,800 円）

入学料、授業料の金額については、変更することがあります。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

（国費外国人留学生として入学する場合は、入学料、授業料とも納付する必要はありません。）

## 6. 長期履修学生制度

職業を有する者、出産・育児・介護等を行う者等を対象に、博士前期課程にあつては最長4年間の在学年限で計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める制度です。

学生の申請に基づき、本研究科が審査し決定します。申請方法等の詳細については、合格者あて別途通知します。

## 7. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、合格者については合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムの案内をするために利用することがあります。

また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料徴収に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

## 8. 注意事項

- (1) 出願書類の提出及び照会等は大阪大学大学院文学研究科教務係あて行ってください。  
 (2) 出願手続後は、書類の変更、検定料の払戻しは原則としてできません。  
 (3) 希望者は、下記期間に限り、過去2年間の入試問題を閲覧することができます。（当該年度に受験者がなかった受験分野の問題は閲覧できません。閲覧の可否は、本研究科ホームページ（入学試験の過去問題ページ <http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/bh2bjb>）で確認してください。）

### ア. 閲覧期間

平成28年6月1日（水）～平成29年1月31日（火）

（土・日曜日、祝日及び平成28年8月12日（金）・15日（月）・16日（火）、平成28年12月29日（木）～平成29年1月3日（火）を除く）

### イ. 閲覧時間

10:00～11:30及び12:30～16:00

### ウ. 閲覧場所

本研究科教育支援室

- (4) 出願書類に虚偽の記載（剽窃・盗用を含む）をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。  
 (5) 身体の障がい等による理由で受験及び修学に際して特別な措置を希望する者は、前もって本研究科教務係へ問い合わせてください。

**本研究科の情報（入試過去問題を含む）については、「大阪大学大学院文学研究科ホームページ（<http://www.let.osaka-u.ac.jp/>）」を参照してください。**



## Ⅱ 一般選抜（秋期試験・春期試験）

### 1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、口頭試験、志望理由書、出身学校の学業成績、卒業論文（又はそれに代わる論文）により、総合的に判断して行います。  
ただし秋期試験出願者は、研究概要をもって卒業論文（又はそれに代わる論文）に代えることができます。
- (2) 秋期試験の筆記試験では、外国語試験（指定された外国語から出願時に選択）と専門試験（A）及び（B）を行います。各専門分野・受験分野によって、外国語試験において受験可能な外国語の種類及び専門試験の内容が異なります。詳しくは【表1】を参照してください。
- (3) 春期試験の筆記試験は、各専門分野・受験分野によって試験内容が異なります。詳しくは【表2】を参照してください。

### 2. 出願手続

#### (1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3. の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士前期課程入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5 大阪大学大学院文学研究科教務係

#### (2) 受付期間

秋期試験 平成 28 年 8 月 17 日（水）～平成 28 年 8 月 22 日（月）【22日消印有効】

春期試験 平成 28 年 12 月 16 日（金）～平成 29 年 1 月 5 日（木）【5日消印有効】

#### (3) 受験票

受験票は、秋期試験は平成 28 年 8 月 26 日（金）以降に、春期試験は平成 29 年 1 月 13 日（金）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が、秋期試験は平成 28 年 9 月 5 日（月）、春期試験は平成 29 年 1 月 23 日（月）を過ぎても到着しないときは、文学研究科教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、受験後も紛失しないように保管してください。



3. 出願書類 (◎は、本研究科所定のものを使用してください。)

| 所定様式 | 出願書類   | 注意事項等   |
|------|--|---|
| ◎    | 入 学 願 書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。</li> <li>秋期試験出願者は、受験外国語科目の欄を必ず記入してください(【表1】参照)。春期試験出願者は、筆記試験において出願時に選択する外国語がある場合、所定欄に記入してください(【表2】参照)。</li> <li>本学出身者は、学籍番号を必ず記入してください。</li> </ul>   |
| ◎    | 受験者写真票・受験票   | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。</li> </ul>   |
| ◎    | 志 望 理 由 書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>当該分野を志望した動機を具体的に記入してください。</li> </ul>   |
|      | 卒業(見込)証明書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>出身学校において作成したもの。</li> </ul>   |
|      | 成績証明書  | <ul style="list-style-type: none"> <li>出身学校において作成したもの。</li> </ul>   |
|      |  | <p>※入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合には、改姓名の事実を証明できる書類(戸籍抄本等(コピーでも可))を添付してください。</p>   |
|      | 卒業論文<br>[又はそれに代わる論文]<br>(2部)<br>もしくは研究概要<br>(2部)<br><br>(※研究概要は秋期試験出願者のみ可) | <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業論文[又はそれに代わる論文]のコピーを2部提出してください(春期試験については、本学文学部を平成29年3月に卒業見込みの者は、提出不要です)。</li> <li>提出した論文は、返却しません。</li> <li>秋期試験の出願者は、卒業論文[又はそれに代わる論文]に代えて、研究概要(現在までの研究報告、及び今後の研究計画(6,000~8,000字))を提出することもできます。</li> </ul>   |
| ◎    | 受験票送付用封筒   | <ul style="list-style-type: none"> <li>出願者本人の宛先を記入し、252円切手を貼付してください。</li> </ul>   |
| ◎    | 合否通知等用封筒   | <ul style="list-style-type: none"> <li>出願者本人の宛先を記入し、420円切手を貼付してください。</li> </ul>   |
| ◎    | 検定料(30,000円)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で振込んでください[A T M(現金自動預入払出機)やインターネットでの振込は不可です]。振込手数料は払込人負担です。</li> <li>振込後、検定料納付証明書(取扱銀行領収印のないものは無効)を入学願書の所定欄に貼付してください。</li> <li>上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納付(願書を受理)できません。</li> </ul>   |
|      | 住民票の写し<br>(※外国人の志願者のみ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」の原本を提出してください。<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>※出願者以外の世帯員については、証明不要です。</li> </ul> </li> <li>外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。</li> <li>ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。</li> </ul> |

#### 4. 試験期日及び試験会場

##### 〔秋期試験〕

本研究科試験場にて下記のとおり実施します。

| 試験科目 |         | 試験日           | 試験時間              |
|------|---------|---------------|-------------------|
| 筆記試験 | 外国語試験   | 平成28年9月27日(火) | 9:30~11:00(90分)   |
|      | 専門試験(A) |               | 12:30~14:30(120分) |
|      | 専門試験(B) |               | 15:30~17:30(120分) |
| 口頭試験 |         | 平成28年9月28日(水) | 10:30~            |

口頭試験には、提出した論文又は研究概要のコピーを持参してください。

##### 〔春期試験〕

本研究科試験場にて下記のとおり実施します。

| 試験科目 |  | 試験日          | 試験時間             |
|------|--|--------------|------------------|
| 筆記試験 |  | 平成29年2月7日(火) | 9:30~12:00(150分) |
| 口頭試験 |  |              | 14:00~           |

口頭試験には、提出した論文のコピーを持参してください。

#### 5. 合格者発表

秋期試験 平成28年10月7日(金) 13:00

春期試験 平成29年2月17日(金) 13:00

本研究科掲示場に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送にて合否を通知します。

#### 6. 入学手続

合格者は、本研究科が指定する平成29年3月初旬の入学手続期間に入学料納付等必要な手続きを行ってください。

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

【表1】一般選抜（秋期試験）

| 専攻      | 専門分野・受験分野 | 外国語試験                   | 専門試験   |
|---------|-----------|-------------------------|--|
| 文化形態論専攻 | 哲学 哲学史    | 英語・独語・仏語・スペイン語・伊語から1外国語 | (A)では、哲学および哲学史を研究する上で必要な語学力を問う。英語・独語・仏語のうち外国語試験で受験しなかった1外国語。<br>(B)では、哲学および哲学史の基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。  |
|         | 現代思想文化学   | 英語・独語・仏語・スペイン語・伊語から1外国語 | (A)では、哲学および現代思想を研究する上で必要な語学力を問う。英語・独語・仏語のうち外国語試験で受験しなかった1外国語。<br>(B)では、哲学および現代思想の基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。  |
|         | 臨床哲学      | 英語・独語・仏語から1外国語          | (A)では、英語・独語・仏語のうち外国語試験で受験しなかった1外国語、もしくは社会の臨床的問題に関する論述能力を問う。<br>(B)では、哲学・倫理的な思考力と論述能力を問う。   |
|         | 中国哲学      | 英語・中国語から1外国語            | (A)では、漢語（古文・現代文）の語学力を試験する。<br>(B)では、中国思想・文化に関する基礎的学力を試験する。   |
|         | インド学・仏教学  | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語   | (A)では、インド学・仏教学を研究する上に必要な言語・思想・宗教・文化・歴史などに関する基礎的事項や方法論について問う。<br>(B)では、専門的語学としてサンスクリット語の語学力（語学辞書は持込可）を問う。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。           |
|         | 日本学       | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語   | (A)では、日本文化に関する幅広い教養と、日本思想史・日本宗教史・日本民俗学・文化人類学・比較文化学・文化交流史・ジェンダー論に関する基礎的知識を問う。<br>(B)では、大学院での研究に必要な専門知識、理解力、分析力を試験する。試験の一部に関連科目の英語文献もしくは史料の読解を含むことがある。 |
|         | 日本史学      | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語   | (A)では、日本史に関する知識と論述能力を判定する。<br>(B)では、日本史に関する史料（古文書を含む）の読解能力を試験する。   |

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

| 専攻      | 専門分野・受験分野 | 外国語試験                       | 専門試験   |
|---------|-----------|-----------------------------|--|
| 文化形態論専攻 | 東洋史学      | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語       | (A)では、東洋史を中心として歴史学に関する知識と論述能力を判定する。<br>(B)では、①古典漢語、②英語・独語・仏語・露語・中国語のうち、外国語試験で受験しなかった1外国語(中国語以外は、中辞典程度の辞書持込可)に関する試験を行う。   |
|         | 西洋史学      | 独語・仏語・伊語・露語・中国語・スペイン語から1外国語 | (A)では、西洋史学に関する基礎的知識を判定する。<br>(B)では、英語史書(辞書持込可)の読解力ならびに西洋史学の専門的知識と論述能力を判定する。  |
|         | 考古学       | 英語・独語・仏語・中国語から1外国語          | (A)では、考古学ならびに関連する学問分野にわたる知識と論述能力を判定する。<br>(B)では、日本および外国の考古学に関する知識を判定する。考古資料の分析力、考古学にかかわる文字資料・英語などの読解力の判定を含む。   |
|         | 人文地理学     | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語       | (A)では、人文地理学に関する基礎知識と論述能力を判定する。<br>(B)では、日本及び外国の人文地理学の知識を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む(中辞典程度の英語辞書持込可)。  |
| 文化表現論専攻 | 日本文学      | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語       | (A)では、「日本文学」・「国語学」両分野に共通する問題で試験を行う。日本文学・国語学について、学部の課程で習得した基礎的な知識や、大学院で修学するのに必要な知識、および上代から現代に至る時代と広いジャンル・分野の文学作品、文献・資料に対する読解力・分析力を試す試験を行う。また、古文を読解する問題をここに含むものとする。<br>(B)では、日本文学について、大学院で修学するのに必要な知識の広さ、いろいろな時代・ジャンルの文学作品に対する読解力の深さ、さらに、修士論文を作成するのに必要な総合的な力の基礎を試す、専門(A)より専門的な試験を行う。 |
|         | 比較文学      | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語       | (A)では、英語力を含む、比較文学の基礎学力を判定する試験を行う。<br>(B)では、比較文学の専門学力を判定する試験を行う。  |
|         | 中国文学      | 中国語                         | (A)では、中国文学の基礎学力を判定する試験を行う。<br>(B)では、中国文学の専門学力を判定する試験を行う。   |

注1)「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

| 専攻                              | 専門分野・受験分野   | 外国語試験                          | 専門試験   |
|---------------------------------|-------------|--------------------------------|--|
| 文<br>化<br>表<br>現<br>論<br>専<br>攻 | 英 米 文 学     | 独語・仏語・露語・<br>中国語から 1 外国<br>語   | (A) では、大学院において英文テキストを十分読みこ<br>なし、また、自己表現を英文をもちいて行うに足る英<br>文読解力、英作文能力を試験する。<br>(B) では、英文学・アメリカ文学の分野において研究<br>を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力につ<br>いて試験する。  |
|                                 | ド イ ツ 文 学   | 英語・仏語・露語・<br>中国語から 1 外国<br>語   | (A) では、ドイツ語の読解力、およびドイツ語での表<br>現能力を試験する。<br>(B) では、ドイツ文学研究に必要な基礎知識、および<br>論述能力を試験する。  |
|                                 | フ ラ ン ス 文 学 | 英語・独語・露語・<br>中国語から 1 外国<br>語   | (A) では、フランス語の読解力、およびフランス文学・<br>語学に関する基礎知識を試験する。<br>(B) では、フランス語での表現力、および修士論文作<br>成に必要とされるフランス語による論述能力を試験す<br>る。  |
|                                 | 国 語 学       | 英語・独語・仏語・<br>露語・中国語から 1<br>外国語 | (A) では、「日本文学」・「国語学」両分野に共通する<br>問題で試験を行う。日本文学・国語学について、学部<br>の課程で習得した基礎的な知識や、大学院で修学する<br>のに必要な知識、および上代から現代に至る時代と広<br>いジャンル・分野の文学作品、文献・資料に対する読<br>解力・分析力を試す試験を行う。また、古文を読解す<br>る問題をここに含むものとする。<br>(B) では、国語学について、大学院で修学するのにな<br>り必要な知識の広さ、いろいろな時代・分野の文献・資料<br>に対する分析力の深さ、さらに、修士論文を作成する<br>のに必要な総合的な力の基礎を試す、専門 (A) より専<br>門的な試験を行う。 |
|                                 | 日 本 語 学     | 英語・独語・仏語・<br>露語・中国語から 1<br>外国語 | (A) では、日本語あるいは言語一般を分析するための<br>能力等を試験する。<br>(B) では、現代日本語学、社会言語学、対照言語学、<br>日本語教育学の諸領域に関する、基礎的な、幅広い知<br>識を試験する。   |

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

| 専攻      | 専門分野・受験分野 | 外国語試験              | 専門試験   |  |
|---------|-----------|--------------------|--|--|
| 文化表現論専攻 | 英語学       | 独語・仏語・露語・中国語から1外国語 | (A) では、大学院において英文テキストを十分読みこなし、また、自己表現を英文をもちいて行うに足る英文読解力、英作文能力を試験する。<br>(B) では、英語学の分野において研究を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力について試験する。 |  |
|         | 美学・文芸学    | 美学                 | 独語・仏語・伊語・露語・中国語から1外国語  | (A) ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②美学・芸術学と関連する英文テキストの読解と検討を中心とする試験（配点およそ80%）。<br>(B) 美学・芸術学における基本的な知識と論述能力について問う試験。                            |
|         |           | 文芸学                | 独語・仏語・伊語・露語・中国語から1外国語  | (A) ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②文芸学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験（配点およそ80%）。<br>(B) 文芸学における基本的な知識と論述能力について問う試験。                                   |
|         | 音楽学・演劇学   | 音楽学                | 独語・仏語・伊語・露語・中国語・スペイン語から1外国語  | (A) ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②音楽学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験（配点およそ80%）。<br>(B) 音楽学に関わる短問短答および論述。   |
|         |           | 演劇学                | 英語・独語・仏語・伊語・露語・中国語から1外国語   | (A) ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②演劇学に関連して、英文テキストの読解と検討、あるいは資料読解を内容とする試験（配点およそ80%）。<br>(B) 演劇学に関連して、学部の課程で習得した基本的な知識を問う試験。                    |
|         | 美術史学      | 日本・東洋美術史           | 英語・独語・仏語・露語・中国語から1外国語  | (A) ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②漢文の出題によって、その読解力と日本・東洋美術史に関する専門知識を問う試験（配点およそ80%）。<br>(B) ひろく東西の美術史に関する基礎的知識を問うとともに、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。 |
|         |           | 西洋美術史              | 独語・仏語・伊語・露語・スペイン語から1外国語  | (A) ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②英語能力と西洋美術史に関する専門知識を問う試験（配点およそ80%）。<br>(B) ひろく東西の美術史に関する基礎的知識を問うとともに、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。               |

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。



【表2】一般選抜（春期試験）

| 専攻                              | 専門分野・受験分野   | 筆記試験   |
|---------------------------------|---|--|
| 文<br>化<br>形<br>態<br>論<br>専<br>攻 | 哲 学 哲 学 史   | 哲学および哲学史を研究するのに必要な外国語読解力(英語・独語・仏語から2外国語を出願時に選択)と基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。   |
|                                 | 現 代 思 想 文 化 学   | 哲学および現代思想を研究するのに必要な外国語能力(英語読解・英作文小論説・独語読解・仏語読解から2つを出願時に選択)と基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。  |
|                                 | 臨 床 哲 学   | 社会で生じている事柄に関する哲学・倫理的思考力と論述能力を問う。外国語(英語・独語・仏語のいずれかを出願時に選択)の理解と表現の能力を口頭試験において問う。   |
|                                 | 中 国 哲 学   | 中国思想・文化に関する学力、および漢語(古文・現代文)の読解力を試験する。  |
|                                 | インド学・仏教学  | インド学・仏教学を研究する上に必要な言語・思想・宗教・文化・歴史などに関する基礎的事項や方法論について問うとともに、専門的語学としてサンスクリット語の語学力(語学辞書は持込可)を問う。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。 |
|                                 | 日 本 学   | 大学院博士前期課程での研究に必要な専門知識、理解力、分析力を試験する。試験の一部に関連科目の英語文献もしくは史料の読解を含むことがある。   |
|                                 | 日 本 史 学   | 日本史に関する知識と論述能力及び史料(古文書・英語を含む)の読解能力等を試験する。  |
|                                 | 東 洋 史 学   | 東洋史を中心とした歴史学に関する知識と論述能力、また古典漢語と英語の能力を判定する(英語は、中辞典程度の辞書持込可)。  |
|                                 | 西 洋 史 学   | 西洋史学に関する専門的知識及び論述能力と、外国史書の読解力(英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可)を判定する。  |
|                                 | 考 古 学   | 考古学ならびに関連する学問分野にわたる知識と論述能力を判定する。考古学にかかわる文字資料・英語などの読解力の判定を含む。   |
| 人 文 地 理 学                       | 日本及び外国の人文地理学の知識を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む(中辞典程度の英語辞書持込可)。 |  |
| 文<br>化<br>表<br>現<br>論<br>専<br>攻 | 日 本 文 学   | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力、総合力を試す。「日本文学」・「国語学」両分野に共通する試験(古文を読解する問題を含む)と日本文学の専門的な試験を行う。                 |
|                                 | 比 較 文 学   | 比較文学についての基礎的知識、文章の読解力及び英語の基礎学力を試験する。   |
|                                 | 中 国 文 学   | 中国文学の基礎学力を判定する試験を行う。   |

注1)「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。



| 専攻      | 専門分野・受験分野 | 筆記試験   |   |
|---------|-----------|--|---|
| 文化表現論専攻 | 英米文学      | 英語の読解力と表現力、英米文学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語（独語、仏語から1外国語を出願時に選択）の能力を試験する。                                |   |
|         | ドイツ文学     | ドイツ語の読解力と表現力、ドイツ文学・語学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語（英語、仏語から1外国語を出願時に選択）の能力を試験する。                          |   |
|         | フランス文学    | フランス語の読解力と表現力、フランス文学・語学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語（英語、独語から1外国語を出願時に選択）の能力を試験する。                        |   |
|         | 国語学       | 大学院博士前期課程で修学するに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。「日本文学」・「国語学」両分野に共通する試験（古文を読解する問題を含む）と国語学の専門的な試験を行う。 |   |
|         | 日本語学      | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本語学についての知識と分析力、外国語（英語）読解力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。                                   |   |
|         | 英語学       | 英語の読解力と表現力、英語学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語（独語、仏語から1外国語を出願時に選択）の能力を試験する。                                 |   |
|         | 美学・文芸学    | 美学   | ①芸術諸学の基礎的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②美学・芸術学と関連する英文テキストの読解と検討を中心とする試験                                    |
|         |           | 文芸学  | ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②文芸学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。<br>③文芸学における基本的な知識と論述能力について問う試験。       |
|         | 音楽学・演劇学   | 音楽学  | ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②音楽学の基本的な知識に関する短問短答。<br>③音楽学の専門試験（英文テキストの読解と検討を含む）。                 |
|         |           | 演劇学  | ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②演劇学の基本的な知識に関する短問短答。<br>③演劇学の専門試験（英文の読解あるいは古文の読解を含む）。               |
|         | 美術史学      | 日本・東洋美術史   | ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本・東洋美術史に関する知識、文献の読解力、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。 |
|         |           | 西洋美術史  | ①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。<br>②美術史学全般に関する試験と共に西洋美術史の専門試験（英文の読解問題を含む）を行う。                          |

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

## Ⅲ 外国人留学生選抜

### 1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、口頭試験、志望理由書、研究レポート及び出身学校の学業成績により、総合的に判断して行います。
- (2) 筆記試験では、日本語試験と専門試験を行います。  
各専門分野・受験分野によって、専門試験の内容が異なります。また、専門試験には、研究に必要とされる外国語の能力試験を含めている専門分野・受験分野もあります。詳しくは【表3】を参照してください。

### 2. 出願手続

#### (1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3. の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士前期課程（外国人留学生）入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5 大阪大学大学院文学研究科教務係

#### (2) 受付期間

平成 28（2016）年 12 月 16 日（金）～平成 29（2017）年 1 月 5 日（木）【5 日消印有効】

※ 出願までに、出願しようとする専門分野・受験分野の教員に連絡し、希望する研究内容等を必ず確認しておいてください。

#### (3) 受験票

受験票は、平成 29（2017）年 1 月 13 日（金）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が平成 29（2017）年 1 月 23 日（月）を過ぎても到着しないときは、文学研究科教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要なため、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類 (◎は、本研究科所定のものを使用してください。)

| 所定様式 | 出願書類                | 注意事項等   |
|------|---------------------|---|
| ◎    | 入 学 願 書             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。</li> <li>・本学出身者(研究生を含みます)は、学籍番号を必ず記入してください。</li> <li>・専門試験において出願時に選択する外国語がある場合は、所定欄に記入してください(【表3】参照)。</li> </ul>  |
| ◎    | 受験者写真票・受験票          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。</li> </ul>  |
| ◎    | 志 望 理 由 書           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該分野を志望した動機を具体的に記入してください。</li> </ul>  |
|      | 卒業(見込)証明書           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身学校において作成したもの。</li> </ul>  |
|      | 成 績 証 明 書           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身学校において作成したもの。</li> <li>・本研究科又は本学文学部の研究生として在学している者は、提出不要です。</li> </ul>   |
|      | 住 民 票 の 写 し         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」の原本を提出してください。</li> <li>※出願者以外の世帯員については、証明不要です。</li> <li>外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。</li> </ul>  |
|      | 国費外国人留学生証明書         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国費外国人留学生のみ提出してください。</li> <li>ただし、本研究科及び本学文学部に在学している国費外国人留学生は、提出不要です。</li> </ul>   |
|      | 研 究 レ ポ ー ト<br>(2部) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様式及び枚数随意(本学文学部を平成29(2017)年3月に卒業見込みの者は、提出不要です)。</li> <li>・提出した研究レポートは、返却しません。</li> </ul>   |
| ◎    | 受 験 票 送 付 用 封 筒     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出願者本人の宛先を記入し、252円切手を貼付してください。</li> </ul>  |
| ◎    | 合 否 通 知 等 用 封 筒     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出願者本人の宛先を記入し、420円切手を貼付してください。</li> </ul>  |
| ◎    | 検 定 料 (30,000 円)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で振込んでください[ATM(現金自動預入払出機)やインターネットでの振込は不可です]。振込手数料は払込人負担です。</li> <li>・振込後、検定料納付証明書(取扱銀行領収印のないものは無効)を入学願書の所定欄に貼付してください。</li> <li>・上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納付(願書を受理)できません。</li> <li>・国費外国人留学生として入学する場合は、納付を必要としません。</li> </ul> |

#### 4. 試験期日及び試験会場

本研究科試験場にて下記のとおり実施します。

| 試験科目 |       | 試験日                        | 試験時間                     |
|------|-------|----------------------------|--------------------------|
| 筆記試験 | 専門試験  | 平成 29 (2017) 年 2 月 7 日 (火) | 9 : 30 ~ 12 : 00 (150 分) |
|      | 日本語試験 |                            | 13 : 00 ~ 14 : 00 (60 分) |
| 口頭試験 |       |                            | 16 : 00 ~                |

口頭試験には、提出した研究レポートのコピーを持参してください。

#### 5. 合格者発表

平成 29 (2017) 年 2 月 17 日 (金) 13 : 00

本研究科掲示場にて合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送にて可否を通知します。

#### 6. 入学手続

合格者は、本研究科が指定する平成 29 (2017) 年 3 月初旬の入学手続期間に入学料納付等必要な手続を行ってください。

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

### 外国人留学生選抜受験者へのお知らせ

**重要**

**大学院博士前期課程の合格発表後には、大阪大学文学部・文学研究科  
私費外国人留学生（研究生）試験への出願ができませんので、注意してください**

本研究科大院博士前期課程外国人留学生選抜に不合格となった場合に、私費外国人留学生（研究生）として、平成 29 (2017) 年 4 月に大阪大学文学部又は文学研究科に入学を希望される方は、あらかじめ大阪大学文学部又は文学研究科の私費外国人留学生（研究生）試験に出願をしておいてください。

なお、本学文学部・本研究科私費外国人留学生（研究生）の出願にあたっては、下記の研究生募集要項を熟読してください。

○「平成 29 (2017) 年度文学部・文学研究科私費外国人留学生（研究生）募集要項」

配布時期：

平成 28 (2016) 年 6 月下旬 (予定)

○願書受理期間：

平成 28 (2016) 年 11 月下旬 (予定)

私費外国人留学生（研究生）出願に関する問い合わせ先：

大阪大学大学院文学研究科教務係 TEL 06-6850-5084

【表 3】外国人留学生選抜

| 専攻                  | 専門分野・受験分野  | 専 門 試 験   |
|---------------------|--|---|
| 文化<br>形態<br>論<br>専攻 | 哲 学 哲 学 史  | 哲学および哲学史を研究する上で必要な語学力（英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択）と、基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。   |
|                     | 現 代 思 想 文 化 学  | 哲学および現代思想を研究する上で必要な語学力（英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択）と、基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。  |
|                     | 臨 床 哲 学  | 倫理学の基本問題の基礎的知識及び思考力を問う。また、研究上必要な語学力を問う。英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択。  |
|                     | 中 国 哲 学  | 中国思想・文化に関する基礎的学力、および漢文の読解力を試験する。  |
|                     | インド学・仏教学   | インド学・仏教学を研究する上で必要な言語・思想・宗教・文化・歴史などに関する基礎的事項や方法論について問うとともに、専門的語学としてサンスクリット語の語学力（語学辞書は持込可）を問う。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。      |
|                     | 日 本 学  | 日本文化に関する幅広い教養と、日本思想史・日本宗教史・日本民俗学・文化人類学・比較文化学・文化交流史・ジェンダー論に関して、大学院での研究に必要な専門知識、理解力、分析力を試験する。   |
|                     | 日 本 史 学  | 日本史に関する知識と論述能力及び史料の読解能力等を試験する。  |
|                     | 東 洋 史 学  | ①東洋史を中心とした歴史学に関する知識と論述能力、②古典漢語あるいは専門とする分野の史料の読解能力、③英語（英語を母語とする場合は、英語に替えて独語・仏語・露語・中国語のうちから1外国語を出願時に選択）の語学力を試験する【中国語以外は、中辞典程度の辞書持込可】。 |
|                     | 西 洋 史 学  | 西洋史学に関する専門的知識及び論述能力と、外国史書の読解力（英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可）を判定する。   |
|                     | 考 古 学  | 考古学ならびに関連する学問分野にわたる知識と論述能力を判定する。考古資料の分析力、考古学にかかわる文字資料・日本語・英語などの読解力の判定を含む。   |
| 人 文 地 理 学           | 人文地理学に関する基礎知識と論述能力を判定する。また、日本及び外国の人文地理学の知識を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む（中辞典程度の辞書持込可）。 |   |
| 文化<br>表現<br>論<br>専攻 | 日 本 文 学  | 日本文学の専門学力を判定する試験。   |
|                     | 比 較 文 学  | 比較文学についての基礎的知識、文章の読解力および英語の基礎学力を試験する。   |
|                     | 中 国 文 学  | 中国文学の専門学力を判定する試験。   |

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

| 専攻      | 専門分野・受験分野 | 専門試験  |  |
|---------|-----------|---|--|
| 文化表現論専攻 | 英米文学      | 大学院において英文テキストを十分読みこなし、また、自己表現を英文をもちいて行うに足る英文読解力、英作文能力を試験するとともに、英文学・アメリカ文学の分野において研究を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力について試験する。 |  |
|         | ドイツ文学     | ドイツ語、ドイツ文学に関する基礎知識、ドイツ語の読解力および表現力を試験する。   |  |
|         | フランス文学    | フランス語、フランス文学に関する基礎知識、フランス語の読解力および表現力を試験する。  |  |
|         | 国語学       | 国語学の専門学力を判定する試験。  |  |
|         | 日本語学      | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本語学についての知識と分析力、日本語の読解力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。   |  |
|         | 英語学       | 大学院において英文テキストを十分読みこなし、また、自己表現を英文をもちいて行うに足る英文読解力、英作文能力を試験するとともに、英語学の分野において研究を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力について試験する。        |  |
|         | 美学・文芸学    | 美学  | ①美学・芸術学と関連する英文テキストの読解と検討を中心とする試験。<br>②美学・芸術学における基本的な知識と論述能力について問う試験。                   |
|         |           | 文芸学   | ①文芸学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。<br>②文芸学における基本的な知識と論述能力について問う試験。                          |
|         | 音楽学・演劇学   | 音楽学   | ①音楽学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。<br>②音楽学に関わる専門学力を判定する試験。                                  |
|         |           | 演劇学   | ①演劇学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。<br>②演劇学に関わる専門学力を判定する試験。                                  |
|         | 美術史学      | 日本・東洋美術史  | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本・東洋美術史に関する知識、文献の読解力、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。                     |
|         |           | 西洋美術史   | ①英文の出題によって、その読解力と西洋美術史に関する専門知識を問う試験。<br>②美術史に関する基礎的知識を問うとともに、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。 |

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

## IV 社会人特別選抜

### 1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、出願書類審査及び専門試験により、総合的に判断して行います。
- (2) 専門試験では、筆記試験と口頭試験を行います。  
各専門分野・受験分野によって筆記試験の内容が異なります。また、筆記試験には、研究に必要とされる外国語の能力試験を含めている専門分野・受験分野もあります。詳しくは【表4】を参照してください。

### 2. 出願手続

#### (1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3. の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士前期課程（社会人特別選抜）入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院文学研究科教務係

#### (2) 受付期間

平成28年8月17日（水）～平成28年8月22日（月）【22日消印有効】

#### (3) 受験票

受験票は、平成28年8月26日（金）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が平成28年9月5日（月）を過ぎても到着しないときは、文学研究科教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、受験後も紛失しないように保管してください。



3. 出願書類 (◎は、本研究科所定のものを使用してください。)

| 所定様式 | 出願書類                                       | 注意事項等   |
|------|--|---|
| ◎    | 入 学 願 書                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。</li> <li>筆記試験において出願時に選択する外国語がある場合は、所定欄に記入してください (【表4】参照)。</li> </ul>   |
| ◎    | 受験者写真票・受験票                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。</li> </ul>   |
|      | 卒 業 証 明 書                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>出身学校において作成したもの。</li> </ul>   |
|      | 成 績 証 明 書                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>出身学校において作成したもの。</li> </ul>   |
|      | 出 願 趣 意 書<br>(2部)                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの社会人としての経験について述べ、それを踏まえて志望する分野において予定している研究の計画を記した文章 (4,000字以内)。</li> </ul>   |
|      | 専 門 分 野 関 連 論 文<br>[又はそれに相当する卒業論文]<br>(2部) | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望する専門分野・受験分野と関連を有する論文 (400字詰 30枚以上) [又はそれに相当する卒業論文]のコピーを2部提出してください。</li> <li>公刊された研究業績があれば併せてそれを提出してください (3点以内)。</li> <li>提出した論文等は、返却しません。</li> </ul>   |
| ◎    | 受 験 票 送 付 用 封 筒                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>出願者本人の宛先を記入し、252円切手を貼付してください。</li> </ul>   |
| ◎    | 合 否 通 知 等 用 封 筒                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>出願者本人の宛先を記入し、420円切手を貼付してください。</li> </ul>   |
| ◎    | 検 定 料 (30,000 円)                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で振込んでください [ATM (現金自動預入払出機) やインターネットでの振込は不可です]。振込手数料は払込人負担です。</li> <li>振込後、検定料納付証明書 (取扱銀行領収印のないものは無効) を入学願書の所定欄に貼付してください。</li> <li>上記以外の方法 (現金・郵便普通為替証書) では、納付 (願書を受理) できません。</li> </ul>          |
|      | 住 民 票 の 写 し<br>(※外国人の志願者のみ)                | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」の原本を提出してください。</li> <li>※出願者以外の世帯員については、証明不要です。</li> <li>外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所を提出してください。</li> <li>ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。</li> </ul> |

#### 4. 試験期日及び試験会場

本研究科試験場にて下記のとおり実施します。

| 試験科目 |      | 試験日           | 試験時間              |
|------|------|---------------|-------------------|
| 専門試験 | 筆記試験 | 平成28年9月26日(月) | 10:00~12:00(120分) |
|      | 口頭試験 |               | 13:00~            |

口頭試験には、提出した論文のコピーを持参してください。

#### 5. 合格者発表

平成28年10月7日(金)13:00

本研究科掲示場に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送にて可否を通知します。

#### 6. 入学手続

合格者は、本研究科が指定する平成29年3月初旬の入学手続期間に入学料納付等必要な手続きを行ってください。

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

【表 4】社会人特別選抜

| 専攻      | 専門分野・受験分野   | 筆記試験   |
|---------|---|--|
| 文化形態論専攻 | 哲学 哲学史  | 大学院博士前期課程で哲学および哲学史を研究するのに必要な外国語読解力（英語・独語・仏語から1外国語を出願時に選択、辞書持込可）と基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。                         |
|         | 現代思想文化学   | 大学院博士前期課程で哲学および現代思想を研究するのに必要な外国語読解力（英語・独語・仏語から1外国語を出願時に選択、辞書持込可）と基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。                        |
|         | 臨床哲学  | 大学院博士前期課程で臨床哲学を研究するのに必要な哲学・倫理学の知識と英語の読解力（辞書持込可）を試す。  |
|         | 中国哲学  | 中国思想・文化に関する学力、および漢文の読解力を試験する。  |
|         | インド学・仏教学  | インド学・仏教学を研究する上に必要な専門知識や方法論、およびサンスクリット語の語学力（語学辞書は持込可）の試験。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。                     |
|         | 日本学   | 日本文化に関する幅広い教養を含め、大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力、総合力を試す。                                    |
|         | 日本史学  | 日本史に関する基本的知識、および史料（古文書を含む）の読解能力を試す。  |
|         | 東洋史学  | 東洋史に関する基本的知識と外国語（英語・現代中国語・古典漢語のうちから1つを出願時に選択）の試験を行う【英語は、中辞典程度の辞書持込可】。  |
|         | 西洋史学  | 西洋史学に関する知識と論述能力、また外国語史書（英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可）の読解力を判定する。  |
|         | 考古学   | 大学院博士前期課程で考古学を研究し、かつ修士論文を作成するのに必要な基礎学力を判定する。考古資料の分析力、考古学にかかわる文字資料、英語の読解力の判定を含む。遺物実測道具を持参すること。                  |
| 人文地理学   | 人文地理学に関する幅広い教養を含め、大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む（中辞典程度の英語辞書持込可）。 |  |
| 文化表現論専攻 | 日本文学  | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。「日本文学」・「国語学」両分野に共通する試験（古文を読解する問題を含む）と日本文学の専門的な試験を行う。 |
|         | 比較文学  | 比較文学についての基礎的知識、文章の読解力および英語の基礎学力を試験する。  |

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

| 専攻      | 専門分野・受験分野 | 筆記試験  |  |
|---------|-----------|---|--|
| 文化表現論専攻 | 中国文学      | 中国文学の基礎的知識や中国語の適合学力を試験する。   |  |
|         | 英米文学      | 大学院博士前期課程で英米文学を研究するのに必要な英語読解力、英語文章表現力、文学作品の分析、鑑賞力を試す。   |  |
|         | ドイツ文学     | 大学院博士前期課程で修学するのに必要なドイツ文学・語学についての基礎知識、ならびにドイツ語の読解力・表現力および総合力を問う。   |  |
|         | フランス文学    | 大学院博士前期課程で修学するのに必要なフランス文学・語学についての基礎知識、ならびにフランス語の読解力・表現力および総合力を問う。   |  |
|         | 国語学       | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。「日本文学」・「国語学」両分野に共通する試験（古文を読解する問題を含む）と国語学の専門的な試験を行う。 |  |
|         | 日本語学      | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本語学についての知識と分析力、外国語（英語）読解力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。                                    |  |
|         | 英語学       | 大学院博士前期課程で英語学を研究するのに必要な英文読解力、英語文章表現力、英語資料の分析力、英語学に関する基本的知識を試す。  |  |
|         | 美学・文芸学    | 美学  | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な美学についての知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。                    |
|         |           | 文芸学   | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な文芸学についての知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。                   |
|         | 音楽学・演劇学   | 音楽学   | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な音楽学についての知識、読解力（英語の読解問題を含む）、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。       |
|         |           | 演劇学   | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な演劇学についての知識、読解力（英語もしくは古文の読解問題を含む）、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。 |
|         | 美術史学      | 日本・東洋美術史  | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本・東洋美術史に関する知識、文献の読解力、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。                   |
|         |           | 西洋美術史   | 大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、能力を試す。美術史学全般に関する試験と共に、西洋美術史の専門試験（英文の読解問題を含む）を行う。               |

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

## 各専門分野・受験分野等問い合わせ先

(大阪大学豊中地区代表電話番号) 06-6850-6111

※内線番号が5000番台のものはダイヤルインの番号で、学外からは06-6850-5×××で利用できます。

| 専攻      | 専門分野     | 受験分野     | 内線番号     |      |
|---------|----------|----------|----------|------|
| 文化形態論専攻 | 哲学 哲学史   | 哲学 哲学史   | 5095     |      |
|         | 現代思想文化学  | 現代思想文化学  | 2121     |      |
|         | 臨床哲学     | 臨床哲学     | 5099     |      |
|         | 中国哲学     | 中国哲学     | 2128     |      |
|         | インド学・仏教学 | インド学・仏教学 | 2125     |      |
|         | 日本学      | 日本学      | 5135     |      |
|         | 日本史学     | 日本史学     | 5101     |      |
|         | 東洋史学     | 東洋史学     | 2138     |      |
|         | 西洋史学     | 西洋史学     | 5105     |      |
|         | 考古学      | 考古学      | 5106     |      |
|         | 人文地理学    | 人文地理学    | 5136     |      |
| 文化表現論専攻 | 日本文学     | 日本文学     | 5111     |      |
|         | 比較文学     | 比較文学     | 2150     |      |
|         | 中国文学     | 中国文学     | 5112     |      |
|         | 英米文学     | 英米文学     | 5113     |      |
|         | ドイツ文学    | ドイツ文学    | 5116     |      |
|         | フランス文学   | フランス文学   | 2162     |      |
|         | 国語学      | 国語学      | 5111     |      |
|         | 日本語学     | 日本語学     | 5134     |      |
|         | 英語学      | 英語学      | 2156     |      |
|         | 美学・文芸学   | 美学       | 美学       | 5122 |
|         |          | 文芸学      | 文芸学      | 5123 |
|         | 音楽学・演劇学  | 音楽学      | 音楽学      | 5124 |
|         |          | 演劇学      | 演劇学      | 2177 |
|         | 美術史学     | 日本・東洋美術史 | 日本・東洋美術史 | 5126 |
| 西洋美術史   |          | 西洋美術史    | 5127     |      |

平成28年6月発行

**大阪大学大学院文学研究科**

教務係

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

電話 06-6850-5085・5084

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/>